

# ネットワーク・システムと遊牧商人

奈良産業大学 棚橋 豪

## ・反秩序としてのヨーロッパ中世

歴史を整然とした秩序に押さえ込もうとするならば、中世ヨーロッパはまさに暗黒時代とって良いだろう。中世ヨーロッパは商業革命の時代であり、商業都市間のネットワークが猛烈な勢いで更新されていった期間である。またこれに伴い「世界＝経済」における都市のヘゲモニーが劇的に変遷していった。その有様は反秩序＝複雑系そのものであり、従来の国家や領土をベースとした歴史観では手に負えないのは当然であろう。

## ・セントラルプレイス・システムとネットワーク・システム

これに関して、西洋都市を考察した Hohenberg & Lees (1995) は、都市の特徴（或いはパースペクティブ）には二種類あることを指摘している。一つは領土的・階層的な都市（像）「セントラルプレイス・システム」であり、もう一つは商業的・ネットワーク的な都市（像）「ネットワーク・システム」である。前者がレスター、後者がヴェネチアに象徴される。Hohenberg & Lees (1995) は、中世ヨーロッパの都市のダイナミクスを捉えるには、後者の「ネットワーク・システム」が相応しいと指摘している。

## ・遊牧商人

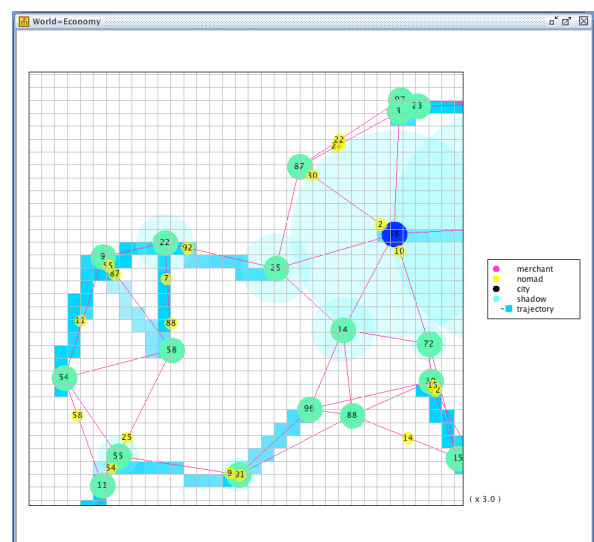
Deleuze=Guattari (1987) は言う。「流れと回路のあいだには、両者がどんなに相互に絡み合っているとしても、大きな差異がある（邦訳 p. 465）」。都市と都市の間を繋ぐのは商人に他ならない。しかし、「すでに確立したネットワーク上を移動する商人」と「遊牧しながら未知の経路を紡ぎ出す商人」は全く異なる存在であることを認めなくてはならない。言うまでもなく都市間のネットワーク形成に寄与するのは、既存のネットワークの「回路」から流れ出て、新たなリンクを張り巡らせる遊牧商人の方である。

## ・モデルの構想とその意義

次のようなルールをもとにしてモデルを考案する。

- ・都市を「ネットワーク・システム」として見なす
- ・都市のヘゲモニーを次数中心性・媒介中心性として定義
- ・ネットワークの形成主体としての「遊牧商人」
- ・使用しないリンクは一定時間で切断させる

本モデルによって、これまで抽象的に語られてきたネットワークシステムの動的側面とヘゲモニーの変遷を具体的に視覚化することができる。また、より詳細な条件を加味することによって、人工社会上の理論実験が可能となる。



Hohenberg, P. M. and Lees, L. H. (1995) *The Making of Urban Europe 1000-1994*, Harvard Univ Pr.  
Deleuze, G. and Guattari, F. (1987) *A Thousand Plateaus*, Univ of Minnesota Pr.